

## 国語（中 1 前期期末試験準備：教科書ワーク）

### 「クジラの飲み水」

再度トライしてほしい問題に●をつけたよ。

#### I. ステージ 1

##### 2 漢字の書き

●ひつじゅ品を買う。(p. 14)

●水をふくむ。(p. 14)

##### 4 活字と手書き文字 (p. 14)

●① (p. 14)

●③ (p. 14)

<ヒント>明朝体は「代」の横棒に、山型の特徴があるよ。

##### 4 構成のまとめ

●① (p. 15)

慶ちゃんの解答：

水分

誤答原因：

語句の細かな表現の違い

- ・飲み水：飲用に適した水を表す。
- ・水分：物質や混合物中の構成成分として含まれている水を指す。

●⑤ (p. 15)

慶ちゃんの解答：

水分は主に（発汗）によって失われる。

誤答原因：

自分の考えや常識で解答

- ・常識で判断してしまったかな。

## Ⅱ. ステージ2

### ● 1. (p.16)

この文章では、どんなことを問題として取り上げていますか

慶ちゃんの解答：

クジラはどのように飲み水をえているのか

誤答の原因：

- ・ 解答の末尾処理
- ・ 文中の内容を正しく抜き出す

解き方：

1. 問題がどんなことを問題として取り上げている、だから、  
答えは、・・・**こと**で答えるよ。

2. 文中には

クジラはどのように**して**飲み水を得て・・・

### ● 2. (p.16)

筆者は、1の問題に対してどのような仮説を立てましたか。  
文章中から17文字で抜き出さない。

慶ちゃんの解答：

クジラは、塩分の多い海水を飲むこと

誤答の原因：

解答の末尾処理

解き方：

問題がどのような仮説を立てましたか、だから、  
答えは、・・・**のではないか**でこたえるよ。

### 3 2の仮説の検証結果について

- (1) 検証結果を文中から25文字で抜き出せ (p. 16)

慶ちゃんの解答：

クジラも海～のである。(30文字、文字数オーバ)

誤答の原因：

文字数制限への対応

解き方：

文字数制限(制限の8割～制限まで)があるから、まず答えの末尾を決める。この場合、癒すことはできないのである、が終わりのようにも見えるが、それは文章の終わりであって、検証結果の終わりではないよ。検証結果の終わりを見つけるよ。

この方法 について答えなさい

- 1の(1) どのような方法ですか。わかりやすく書きなさい。(p. 17)

慶ちゃんの解答：

食べ物に含まれている水分に頼る

誤答の原因：

- ・ 指示先の見つけ方
- ・ 解答の末尾処理
- ・ 具体→抽象、抽象→具体への言い換え

解き方：

1. 「この**方法**」の指示先は、慶ちゃんの考えた直前の文ではなく、「この水分を飲み水の代わりに利用するという**方法**である」だよ。「方法」で探せば、たどりつける。さらに「この水分」とは、その前の文「クジラの～水でできている」。

2. 指示先が正しく選べたとして、文章にすると以下のようなになるね。

「クジラの食べ物となる動物プランクトンや魚介類の体は80パーセント近くが水でできている。この水分を飲み水の代わりに利用する方法となる。」

「どのような方法」ですか、ときかれていますので、「・・・方法」で答えるよ。ところで、この答えだとたぶん減点される。

3. それは、「わかりやすく書きなさい」と指示されているのに、その指示に従っていないから。

「クジラの食べ物～80パーセント近くが水でできている」の部分が具体的な表現なので、この部分を抽象的な表現に「言いかえ」ないといけない。

解答例：

食べ物となる生物の体内に含まれる水分を飲み水として利用する方法。

● 1の(3)(1)の方法をクジラが使えないのはなぜですか。(p.17)

次の□にあてはまる言葉を、20字以内で書きなさい。

クジラの食べ物となる生物は、□から。

慶ちゃんの解答：

塩分の割合が、海水とほぼ同じだから。

誤答の原因：

- ・ 解答の末尾処理
- ・ 語句の修飾

解き方：

1. □に正しく入るように末尾を調整する。

2. 減点されないためには、

文が粗いので、「塩分の割合」を修飾したほうがさらにいい。

良かった点：

少し前の文、「塩分の量が、植物と動物とでは違うからである」を答えとしなかった点。クジラの食べ物となる生物について聞かれているからね。

● 1 この水 とは、どんな水のことですか。(p. 18)  
文章中の言葉を使って書きなさい。

慶ちゃんの解答：

食べ物を消化して、脂肪やタンパク質を分解するときにできた水のこと。

誤答の原因：

指示先は正しくたどれているけど、以下がまずい。

- ・ 文中の内容を正しく抜き出す
- ・ 語句の修飾
- ・ 語句の細かな表現の違い

解き方：

1. 問題文をよく見て、抜き出してね。
2. 食べ物に、修飾があったほうがなおいい
3. 時制にも注意してね。「できた水」が正しいのかな。

● 5 もったいない とありますが、どのようなことがもったいないのですか。  
「脂肪」という言葉を使って35字以内で書きなさい (p. 19)

慶ちゃんの解答：

食べ物や体内に蓄えた脂肪からあり余るほどの水ができるわけではないから。

誤答の原因：

- ・ 傍線部を含む一文の分析方法

慶ちゃんは、「貴重な水」の説明をしていて、「もったいない」内容を説明していない。

- ・ 文字数制限への対応
- ・ 具体→抽象、抽象→具体への言い換え
- ・ 解答の末尾処理

解き方：

1. 傍線部は、傍線部を含む一文を分析するよ。

これはもったいない話のように思える。

そして、主語、述語、指示語、接続語を確認する。

「これ」は直前の文を指している。

クジラの場合、貴重な水分は主に排せつによって失われることになる。

つまり、もったいないのは、

貴重な水分を排せつで失ってしまうこと。

2. 27文字～35文字にするには、「貴重な水分」を説明することになる。

その説明を「脂肪」という言葉を使って行えという問題だ。

つまり、この出題の意図は、「貴重な水分」という「抽象語」を「具体語」に「言いかえ」、せよということだ。

3. 「貴重な水分」と「脂肪」に関連する箇所を探す。

少し前の文に、

「食べ物や体内に蓄えた脂肪からあり余るほどの水ができるわけがない」この貴重な水分を・・・という文がある。

この文が、「貴重な水分」の具体部分。

4. 以下の2つの文を35文字にまとめて、文末を「こと」にする。

「食べ物や体内に蓄えた脂肪からあり余るほどの水ができるわけがない」

「クジラの場合、貴重な水分は主に排せつによって失われることになる」

解答例：

脂肪を分解して得た貴重な水分が、主に排せつによって失われること。

なお、

文末を「から」で答えるのは、設問が「理由」とか「なぜ」の場合だよ。

● 6 この文章の内容に合うものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(p. 19)

- ア. クジラは食べ物となる生物の水分を飲み水に利用している。
- イ. クジラは主に体内の炭水化物を分解して、多量の水を得ている。
- ウ. クジラの体は、呼吸と発汗により水分を失うことはない。
- エ. クジラは体のしくみにより、水を飲まなくても生きていける。

慶ちゃんの解答：

ウ

誤答の原因：

四択の選択の仕方

解き方：

「内容に合う」とは多くは要旨を答える問題だが、この設問の選択肢は、そのようなものではなく、選択肢と本文の内容が一致しているか否かをみているだけなので、選択肢を区切りながら本文内容と確認するよ。

選択肢を区切りの例：

- 「文節」の区切りとかではなく、チェックしたい単位で区切れればOK。
- ア. クジラは食べ物となる／生物の水分を飲み水／に利用している。
  - イ. クジラは主に／体内の炭水化物を分解／して、多量の水を得ている。
  - ウ. クジラの体は、／呼吸と発汗により水分を失うことはない／。
  - エ. クジラは／体のしくみ／により、／水を飲まなくても生きていける／。